



週報

2016~2017年度 RI会長 ジョン・ジャーム
RIのテーマ 『人類に奉仕するロータリー』
地区のテーマ 『知恵と元気を』 ガバナー 前嶋修身

国際ロータリー
第2570地区

狭山中央ロータリークラブ

〔例会場〕 狭山東武サロン〒350-1305 狭山市入間川 3-6-14 TEL 04-2954-2511
〔事務所〕 〒350-1305 狭山市入間川 1-24-48 TEL 04-2952-2277 FAX 04-2952-2366
<http://www1.s-cat.ne.jp/schuohrc/E-mail:schuohrc@p1.s-cat.ne.jp>
会長 佐藤 圭司 副会長 小島 美恵子 幹事 益子 伸明

第3グループ内の例会日] 新狭山(月)、入間(木)、入間南(火)、飯能(水)、日高(火)、狭山中央(火)
所沢(火)、新所沢(火)、所沢西(火)、所沢東(木)、所沢中央(月)

第1127回(3月28日)例会の記録

点鐘 佐藤圭司会長
合唱 我等の生業
第2副SAA 守屋会員 野口会員
ビジター 新狭山RC 石田 嵩様

※出席報告

会員数	出席者数	出席率	前回修正
32名	25名	77.41%	83.87%

パスト会長の時間

小幡 直樹 パスト会長

3月16日、NHKの番組で「なぜ台湾はこれほどまでに親日なのか」が放映されました。



あの東日本大震災の時以後、200億もの義援金が届き、それらは民間の人達から届けられたそうです。一体何がそうさせたのか、それには深い歴史があります。台湾はオランダ統治時代(1624-1662)、明治統治(1662-1683)、朝鮮統治(1683-1895)、日本統治(1895-1945)、中華民国(1945-)。

日本統治以外では搾取され放置され、人々の生活は大変悲惨なものでした。

日本の統治時代に入っても人々はまた同じ思いをすることに抵抗があり、暫くの間争いが絶えませんでした。日本の統治は日本と同じ同化政策をとり、遅れている道路、鉄道、港湾、上下水道、電気、通信などインフラ

の整備に取り掛かりました。教育には最も力を注いだ為、就学率は1944年には71.3%にも及び、大学も創設しました。そして学校教育は日本語で行われた為、この時代に教育を受けた人は日本語を話せます。インフラ整備、特に農業に取り組んだ日本人がいます。台湾を愛し、尊敬されたその人は八田與一氏です。八田氏は(1886年)明治19年、金沢郊外の農家の五男として誕生しました。地元の中学・高等学校を経て(1910年)明治43年に東京帝国大学工学部土木科を卒業し、台湾総督府に技手として就職しました。当時、台湾は初代民政長官 後藤新平の指揮の下、水道、発電、灌漑等のインフラ建設の真最中でした。いくつかの仕事で信頼を得て、のちに嘉南平野の調査の結果、官田溪の水をせき止め、更に曾文溪からトンネルで水を引き込んで貯水量一億五千万トン鳥山頭ダムを建設する壮大な計画を立案しました。総予算4200万円(現在の約5000億円)の破格の事業が認められると、すぐ自ら陣頭指揮を取る為、総督府を辞め組合府技師となりました。そして工事は難航しましたが10年の歳月を費やし、アジア唯一のダムが完成しました。かつての農産物の収穫が一举に4.2倍になり、供水区域は嘉義嘉南2県に跨り、15万戸、100万人の農民がこの恩恵に喜びの涙を流した。八田氏は現地の一般庶民の幸せを最優先しました。鳥山頭ダムは完成後85年を経た現在も支障なく機能しています。台湾の人々にとって神様のような存在であり、親から

子供へとこの恩が伝承されていることが良く分かります。何度か現地を訪れましたが、毎回八田氏の事を大変よく精通している人に会います。今回はタクシーの運転手さんで、八田氏の話や殆ど全て知り尽くしていた。

日本統治の日本人への想いがしっかり根付いており、東日本大震災の民間の人達からの義援金は大変胸が熱くなる思いでした。

幹事報告

益子幹事

- ・地区より『青少年奉仕オリエンテーション』開催のご案内
『青少年部門セミナー』開催のご案内
 - ・地区より『台湾での「第 18 回ローター国際囲碁大会」のご案内』
 - ・RIより『日本人親善朝食会についてのお願い』
 - ・公益財団法人米山記念奨学会より
『米山梅吉記念館 春季例祭のご案内』
『賛助会ご入会のお願い』
 - ・地区より『派遣学生1月次報告書』
 - ・狭山市・入間市暴力排除推進協議会より
『平成29年度総会の開催について』のご案内
 - ・狭山市交通安全協議会より
『春の全国交通安全運動に係る広報啓発活動の実施について』依頼状
- ◎ 例会変更 新所沢RC 所沢中央RC
◎ 回 覧 米山梅吉記念館 館報 2017 春号

「会員卓話」……

ひまわりクラブ 子ども食堂
代表 井島美由紀様

私はまったくのボランティア活動としてひまわり倶楽部に参加しておりますが、普段の仕事とリンクしていると思うところがあります。5年前、社会福祉協議会の職員をしていた時期に、仕事を探されている方、生活の苦しい方に貸付をするという業務をしていましたが、そこに若い方の離職、全く仕事ができないという方が多く相談にこられました。そういう方の話を聞いていると、すぐに仕事をやめてしまうという現状が繰り返されているというのが多く見受けられます。それはその人に根性がないとか、



なまけているとか、そういう問題ではないようです。これにはその方のバックグラウンドや家庭環境が大きく関わっており、お父様が仕事に行ったところをみたところがない、というご家庭で育ったお子さんは、仕事に行くというイメージすらもせず、また生きることのモチベーションが上がらない方がたくさんいらっしゃいます。生きていく、育っていく環境がどれだけ大事なのかと感じました。

今の業務は、障害のある方の相談員をさせていただいております。相談内容で特に多いのは、精神障害を持たれている方です。精神障害といっても必ずしも統合失調症などの手帳を持っている方だけでなく、社会に出て精神環境がうまくいかず鬱を発症してしまったり、なかなか場に適応できない適応障害として薬を飲まれていたり、精神科に受診をされている方が多くおられます。みなさんやはり若く、なかなか次のお仕事につくことができず、私達で指導をさせていただくという業務になります。相談を受けていると、その方の生い立ちの中で、これまでにモチベーションが上がる瞬間が少なかったり、周りに自分がどれだけ愛されているか、心配されているかと感じずに生きていたりする方が多いのだと日々感じています。だからこそ、オフの時間に、こども食堂をやることの意義を感じています。

ニュースでこども食堂が取り上げられました。一見普通に見える親子さんであっても、おにぎりひとつの貧困生活に陥ったり、ご自宅自体も普通のお家のように見えますが、貧困の状態というのは急激に起こることが多いのです。急に仕事がなくなったり、ご主人と離婚されたり、家庭環境の変化で急に貧困生活というのは訪れます。生まれてからずっと貧困というわけではないということです。その場合、どのような支援が受けられるかというのがとても重要です。こども食堂にも、一度の誘いで来られる方はほとんどいません。周りの方が行きやすい環境をつくることで、やっとこども食堂に通える、という重要性をこのところ痛感しております。

ひまわり倶楽部一年を通して、こども達の食事のための食材の資金繰りに悩んできました。そんな中で、ロータリークラブさんのご協力のもと、七夕祭りに出店することができました。ベビーカステラとやきそばを出店し、朝から晩まで焼き続けました。七夕祭りのお店はとても居心地がよく素晴らしい環境で、作業に専念させて頂きました。メンバー総出でシフトを組み、通常

は子ども達の学習支援をしている先生方にもご協力いただきました。2日間で20万円売上げ、慣れないため材料費がその半分かかってしまいましたが、およそ10万円の収入になりました。それがすべて子ども達のための食材となっております。

食堂では、一人一食100円でやっています。会場ごとに10人10食分のところ、50人50食分のところとあり、それぞれ1000円、5000円という経費でやり繰りしています。これ以上食費が上がってしまうとなかなかやりきれないため、普段そのくらいを目安にやっていますが、七夕祭りの売上の10万円のお陰で、今年度は過ごせています。

市内の子ども食堂の様子を見ていただくという趣旨で、祭りの際、会場の一角で缶バッジを売りながら、子ども食堂をしたい人、関心がある方の受付をしていました。狭山市内には8か所子ども食堂がオープンしていますが、開催は大体のところが月1回です。これが定期的で開催できれば、自信になって開催回数が増えてくるのではと思います。子ども食堂なので、まず子ども達が自転車で行ける距離でないと意味がなく、よって会場を色々な場所にたくさんつくるのが目標です。様々なスタイルの食堂があつていいのです。大人も受け入れOK、一緒に勉強しましょう、遊びましょう、という会場もあり様々です。どんな形でも子どもが行き易いのが一番。狭山の子ども食堂は今急激に増えているので、とても楽しみです。

狭山中央ロータリークラブの会長から缶バッジ製作の機械を贈呈していただき、使わせていただいております。今はメンバーがみんなこの缶バッジを名札として、子ども達にも名前を覚えてもらうというのを習慣としています。とても立派で使いやすく、以前こちらで使用していたものよりずっといいものを頂きました。今後もこの機械を使い、イベントでは缶バッジ作りのコーナーを作り、子供たちに描いてもらった絵を缶バッジにしたり、それを販売したりと使わせて頂きたいと思っております。これも大事な収入源となっていきます。

七夕祭りのご紹介や、缶バッジの機械など、ご協力にととても感謝しておりますとともに、みなさまの応援が心強く感じております。ボランティア活動はとても難しく、普通の仕事と違い対価がないため、本当に自分達がよかったのかといつも迷いながらやっています。しかし、地域のみなさんに応援して頂いていると団体の中で



認識できると、とても勇気付けられます。自分達だけじゃないんだ、と思うことだけで頑張り通せます。みなさまにたくさんのご協力頂きまして、ひまわり倶楽部一同感謝申し上げます。

実際に活動については、最近「ひまわり倶楽部」と名前の入ったのぼりをつくりました。現在は、市民交流センターの3階に調理室をお借りして、こののぼりを立て第2、第4の日曜日、5時から8時半まで開催しております。普段みんな一緒にはご飯が食べられなくても、日曜日だけはサザエさんを家族みんなで見ながら食事をする時間帯であり、その時間になってもいつまでも帰らずに公民館にいるお子さんは家庭的に厳しいのだらうなと感じ、あえて日曜日の夜の時間帯に開催しています。

内容も素晴らしい食事というわけではありませんが、まずみなさんのお腹を満たすことをモットーとしています。男の子が多いのですが、油の多くボリュームがあるモモ肉は買えず、ムネ肉でから揚げを作りました。「久しぶりにお肉を食べた」「手作りのからあげは久しぶりだ」という声があり、あつという間に4kgのお肉がなくなりました。

一年のところどころでイベントがあり、今年度はクリスマス会を行いました。この時の試みとしては、私達主体の調理から、子ども達にもつくってもらおうということで、実習形式で参加してもらいました。嫌々ながらの子どももいましたが、一緒に包丁を持って手伝ってもらいました。子どもから大人になっていくうえで、自分で料理が出来るとするのは大事な力で、それが出来ないと親になった時に子どもに作ってあげられません。調理をするということが家庭から減ってきている中、こういうきっかけで調理を体験し、調理というものがどういうことかというのを分かってもらえたら良かったと思います。恵方巻も作りました。コンビニが作り出した風習という説もありますが、太巻きを方角に向かって一息で食べると幸福が訪れるといわれ、節分の時に太巻きを食べる習慣があります。これを作った時、こちらからは何にも言っ



ていないのに、みんな無言で食べ進めていました。しゃべりかけても無言でした。丸ごと一本を無言で食べるんだ、とみんな挑戦

していたようです。後から聞いてみたら、お家で恵方巻を食べたことのあるこどもは一人もいませんでした。これだけ世の中に浸透したものなのに、中々それに行きつけない家庭で育ち、それだけに一本食べきるといふ熱心な気持ちがとてもよく分かりました。こうして季節のメニューも取り入れています。

とてもうれしかったことがありました。受験シーズンに入り、トンカツを作ろうと思ったのですが、お肉を買うお金がなく、ひき肉にたくさんつなぎとしてタマネギを入れ、メンチカツを作りました。会場に来たこどもたちは受験生である自分たちが応援されているのだと気づき、それを口々に話しました。何も言わなくてもそういう気持ちがきちんと伝わるんだと感じました。後日、「メンチカツのおかげで無事合格しました」「いい高校に行きました」「応援ありがとうございました」とたくさん報告に来てくれ、集まって動画を撮ってとせがまれました。

最後に、子供たちにとってごはんを食べるといふことはとても大事なことです。私達も毎日提供できているわけではありません。何が大事かと一年通して思うのが、応援してる大人がいるということや、食事を通して、みんなの事を知っているよという気持ちを伝えることが実はもっとも大事なことです。こどもたちはこども食堂に来てよかったと思うことを、半分はお腹がいっぱいになったことだけど、もう半分は心が満たされたことだと言っていました。今後のこの活動を続けながら、狭山市の子供たちに、大人が見ているよ、心配しているんだよ、応援しているんだよというメッセージを流し続けていきたいと思っています。

ニコニコボックス

- 石田嵩様 いつもお世話になり有難うございます。新狭山RC創立30周年のご案内に伺いました。
- 佐藤君 気持ちの良い朝です。春が来ましたね。本日の外来卓話、お忙しい折に快く引き受けて頂き有難うございます。卓話宜しく願い致します。
- 益子君 ひまわり倶楽部 井島様、本日の卓話宜しく願います。P会長の時間の小幡P会長、楽しみにしていました。宜しく願います。
- 江原君 ひまわりクラブこども食堂代表井島美由紀様、卓話の時間を宜しく願い致します。また小幡先生、P会長の時間を楽しみにして居りました。宜しく願い致します。そして新狭山RC石田会長ようこそおいで下さいました。有難うございます。
- 小島君 小島P会長、会長の時間楽しみにしております。こども食堂代表 井島美由紀様、ようこそお出で頂きました。卓話宜しく願います。
- 小幡君 久しぶりにP会長の時間有難うございます。台湾人が心から尊敬する人、八田與一氏をお話します。
- 柴田君 小幡P会長、八田與一の素晴らしいお話し有難うございました。
- 清水君 ひまわりクラブこども食堂代表 井島美由紀様、卓話有難うございます。宜しく願い致します。

◆次の例会

4月11日(火) 12:30~13:30

第二副SAA: 奥富会員 小澤会員
外来卓話: さやマーチ